

第1回坑廃水水質改善技術開発事業

研究開発プロジェクト 終了時評価検討会

議 事 要 旨

1. 日 時 平成27年12月7日(月) 15:00～18:00

2. 場 所 経済産業省別館6階626会議室

3. 出席者

(検討会委員) [敬称略・五十音順、※は座長]

※井上 千弘	東北大学大学院環境科学研究科教授
皿田 滋	筑波大学システム情報系・知能機能工学域研究員
高島 由布子	株式会社三菱総合研究所環境・エネルギー研究本部 主任研究員
張 銘	産業技術総合研究所地質調査総合センター地圏資源 環境研究部門地圏環境リスク研究グループ研究グル ープ長
山崎 義宏	日本鉱業協会休廃止鉱山専門委員会委員長

(研究開発実施者) [敬称略・五十音順]

岩野 圭太	鹿島建設株式会社岩盤・地下水グループ主席研究員
江波戸 昌徳	応用地質株式会社エネルギー事業部計測探査部部长
岨中 真洋	石油天然ガス・金属鉱物資源機構金属環境事業部調 査技術課課長
富山 眞吾	三菱マテリアル株式会社環境・CSR部環境管理室 リスク管理グループグループ長補佐

(事務局)

商務流通保安グループ鉱山・火薬類監理官付	
金属鉱業等鉱害対策官	清水 智
鉱害防止専門職	川和田 守
総括係	佐藤 佑樹

(評価推進課)

産業技術環境局技術評価室

室長補佐
室長補佐

村田 博顕
古田 清史

4. 配布資料

- 資料 1 評価検討会委員名簿
- 資料 2 研究開発評価に係る委員会等の公開について
- 資料 3 経済産業省における研究開発評価について
- 資料 4 評価方法（案）
- 資料 5 坑廃水水質改善技術開発事業の概要
- 資料 6 評価用資料
- 資料 7 坑廃水水質改善技術開発事業技術評価書の構成について（案）
- 資料 8 評価コメント票
- 参考資料 1 経済産業省技術評価指針
- 参考資料 2 経済産業省技術評価指針に基づく標準的評価項目・評価基準
- 参考資料 3 平成 24 年度事前評価報告書

5. 議事概要

（１）座長選出

委員の互選によって、井上千弘委員が本検討会の座長に選出された。

（２）評価検討会の公開について

事務局から、資料 2 により、評価検討会の公開について説明がなされた後、本評価検討会について、会議、配付資料、議事録及び議事要旨を知的財産や企業戦略に係る内容があった場合を除き公開とすることが了承された。

（３）評価の方法等について

事務局から、資料 3、4、7、8 により、評価の方法等について説明がなされ、了承された。

（４）研究開発プロジェクトの概要について

事務局及び実施者から、資料 5、6 により、坑廃水水質改善技術開発事業の概要について説明がなされた。

主な質疑等は以下のとおり。

- ・シミュレーション結果で減少した坑内水の行き先について、委員から質問があり、研究開発実施者から資料 5 概要の模式図を用いて説明を行い、地下水面よりより上位の不飽和面を通る雨水に関しては、

鉱床に触れないため汚染されずに河川に流入する結果となっているとの回答があった。

- ・ 今回の技術開発については、この先の普及をさせる上で最も重要な技術開発要素や問題点は何かと委員から質問があり、発生源対策としては、地表面の遮水等他の技術もあるところであるが、コストや管理のしやすさ等様々な現場においてどの技術を導入することがより良いのかを評価する必要があるとの回答があった。
- ・ 委員より、収益面でマイナスとなる事業をゼロへ近づける今回のような技術開発は、国が関与しつづけることが必要、また、事業者側もインフラの老朽化問題への今回の技術開発の成果を応用する等事業化へ近づける努力をすべきとのコメントがあった。

(5) 今後の予定について

評価コメント票の提出期限を平成27年12月21日とすることを確認した。また、第2回評価検討会を平成28年1月13日から15日の間に書面審査にて開催することとした。

(6) その他

特になし。

以上